

## 第77回経営協議会議事要旨

日時：平成29年2月22日（水）15時00分～17時10分

場所：山口大学 事務局1号館4階 特別大会議室

山口大学 東京事務所（テレビ会議）

出席者：岡，古賀，田中，吉岡，福田，堀，田口，根ヶ山，白井，三浦

安達，今村，岩田，梅本，鎌田，齋藤，下村，田村，藤部，益田，山本

21名

欠席者：御手洗

1名

びざー：土谷，三石

2名

議事に先立ち、学長から、2月1日付けで本会議の委員に就任した梅本裕英（うめもとひろひで）委員の紹介があり、梅本委員から挨拶があった。

### 議 題

#### I 山口大学の取組紹介について（地域未来創生センター）

山田統括コーディネーターから、COC+事業の取組について説明があり、意見交換が行われた。

（主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は統括コーディネーター）

○山口県出身学生を残すことに加えて、近隣他県の学生を集めることもした方が良いと思われる。

◇大学進学等で山口県を出て行った人にも帰って来てもらえるように、いかに山口県に定着するのかについて活動している。

○学生の育成は各大学独自に行っているのか、あるいは山口大学のモデルを参考に行っているのか。

◇高等教育機関として山口大学をはじめ12機関がこの中に入っている。趣旨が活かせるものは独自で行い、足りないところだけ山口大学がアシストしている。

○地元大学へ進学してもらえるようなPR方法を検討して、進学タイミングでも人材が県外へ流れないような努力をしてほしい。

○県内企業について知らない学生が多いように見受けられる。学生が知らない企業でも、ご両親が知っている企業であれば学生に薦めやすいと思う。

○就職後数年で離職する問題があり、学生に思い描いた仕事をさせることが大切である。

◇マッチングシステムにある企業情報の中に企業側が学生に望んでいることを記入していただいで、少しでもミスマッチをなくしたいと思っている。

○県外の学生に県内のインターンシップを知ってもらい、旅費の補助があるとよいことと、企業側も会社情報の中で価値観を書くことが必要である。

◇旅費に関しては県から一部補助があり、県内企業視察のツアーもある。マッチングについては上手くいくようコーディネートに努めていきたい。

#### II 議事要旨の確認

学長から、第75回及び第76回経営協議会議事要旨について、資料I-1、I-2に基づき確認があり、原案のとおり承認された。

### Ⅲ 審議事項

#### 1 学長選考会議委員の選考について

学長から、学長選考会議委員の選考について、審議資料1に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

#### 2 中期目標・中期計画の変更について

古賀理事から、中期目標・中期計画の変更について、審議資料2に基づき説明があり、審議の結果、役員会に諮ることとなった。

#### 3 平成29年度予算編成方針（案）について

吉岡理事から、平成29年度予算編成方針（案）について、審議資料3に基づき説明があり、審議の結果、役員会に諮ることとなった。

（主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は学内委員）

○平成28年度の財源で不足しているのに、平成29年度の予算編成に反省が見られない。収入は低く、支出は多く見積もり、財務改善に取り組んでいただきたい。

◇財務バランスを取るのは当然のことであり、ご意見をふまえ計画的に取り組んでいきたい。

○人件費や配置人員を減らすのは問題があるのではないか。

◇基本的には人事院勧告を遵守していかなくてはならない。後任補充の時期を遅くする、ワークライフバランスを重視し、残業時間を縮減するなど出来るところから努力して減らしている。

○国立大学は寄附金以外に収入を稼ぐ方法はないのか。

◇社会人向けの知財教育での収入や科研費のほか、第三者への土地の貸付が可能になったので、活用していきたい。

○総合大学の強みを活かしてベンチャーを興していくということが重要なのではないかと思う。

◇自治体から無料で様々な委員等引き受けていたが、対価をいただけるシステムを導入できるようになったので、上手く活用しながら増収に努めたい。

○山口大学への進学希望者を増やすため、特色のある研究などに予算を配分してはどうか。

◇特色ある研究を重点支援しているが、アピールが足りないところが欠点だと思っているので、更にアピールしていきたい。

#### 4 山口大学における履修証明プログラムに関する規則の制定について

福田理事から、山口大学における履修証明プログラムに関する規則の制定について、審議資料4に基づき説明があり、審議の結果、役員会に諮ることとなった。

（主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は学内委員）

○大学の授業は1コマ（90分）を2時間として計算している。今回の履修証明プログラムでは総時間数を2時間と定めているが、どちらの基準で時間数を計算するのか。

◇現在学生向けに開講している授業を履修証明プログラムの中に組み込む場合は、1コマ（90分）を2時間としてカウントするが、本プログラム用に新しく授業科目を開講する場合は、実際的时间数でカウントすることを文部科学省に確認した。

○講習料を寄附金として受け入れれば、寄附金控除が受けられるので、受講生が集まりやすいのではないか。

◇控除額が高い寄附金は経済的困窮学生の支援に限られているため、難しい。

#### IV 報告事項

##### 1 山口大学基金寄附状況について

古賀理事から、山口大学基金寄附状況について、報告資料1-1, 1-2に基づき報告があった。

##### 2 平成29年度一般入試志願状況について

福田理事から、平成29年度一般入試志願状況について、報告資料2に基づき報告があった。

#### VI その他

##### 1 山口大学の主な動きについて

中島総務部長から、山口大学の主な動きについて、報告資料（その他）1に基づき報告があった。

#### 【配付資料】

##### <配付資料>

##### 1 国立大学法人山口大学経営協議会 構成員（平成28年度）

##### I-1 第75回経営協議会議事要旨（案）

##### I-2 第76回経営協議会議事要旨（案）

##### <紹介資料>

##### 1-1 やまぐち未来創生人材育成・定着促進事業の現状と今後の取組

##### 1-2 寄稿

##### <審議資料>

##### 1 学長選考会議委員の選考について

##### 2 中期目標・中期計画の変更について

##### 3 平成29年度予算編成方針（案）について

##### 4 「山口大学における履修証明プロジェクトに関する規則」の制定について

##### <報告資料>

##### 1-1 山口大学基金寄附状況について

##### 1-2（机上配付）山口大学基金だより vol.03

##### 2 平成29年度 山口大学入学志願者状況

##### <報告資料（その他）>

##### 1 山口大学の主な動きー平成28年12月～平成29年2月ー